

# 反射防止剤

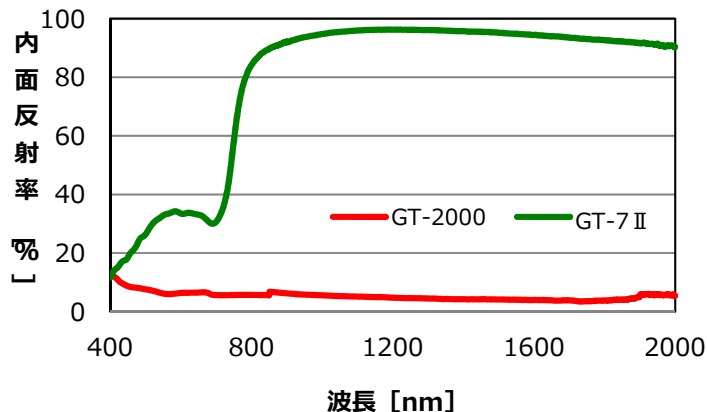
製品名  
**GT-2000**

光学業界をリードする  
キヤノン化成の反射防止剤

**高性能**

**高品位**

波長域における内面反射率  
(プリズム屈折率：1.8)



## 特徴

- 高屈折率レンズの可視光から近赤外領域で優れた反射防止性能
- 黒が際立つ外観品位
- 熱衝撃・高温・高湿などの厳しい環境変化へ対応
- 密着性・耐溶剤性・耐超音波性 良好

## ◆製品構成◆

	A剤	B剤	GT-2000 シンナー
概要	主剤	硬化剤	専用希釈剤
主成分	エポキシ樹脂	変性脂肪族ポリアミン	有機溶剤
外観	黒色液体	黄色透明液体	無色透明液体

## ◆被膜特性◆

項目		評価結果
反射率	可視領域 ★1	7.4% 未満
	近赤外領域 ★2	4.7% 未満
密着性 ★3		○
耐超音波性 ★4	MEK	○
	IPA	○
耐溶剤性 ★5	MEK	○
	IPA	◎
耐熱性 ★6		○
熱衝撃 ★7		○
鉛筆硬度		4H~5H

<使用例> カメラ用交換レンズの場合



レンズ側面に被膜を形成することにより  
レンズ内部の反射を防止する。

## ◆使用方法◆

[推奨混合比] A剤：B剤 = 15：3 ※重量混合比  
専用希釈剤は塗りやすい粘度に調整してご使用下さい。

[推奨硬化条件] 80℃ 2時間

※室温でも24時間程度で乾燥しますが密着性、耐溶剤性が加熱硬化した場合より劣ります。

- ★1：400～700nmの平均反射率 レンズ屈折率1.8 入射角68°
- ★2：850～2000nmの平均反射率 レンズ屈折率1.8 入射角68°
- ★3：クロスハット試験結果 (JIS 5400-8.5.2に準ずる)
- ★4：ガラスに形成した被膜をMEK及びIPAで3分間超音波洗浄し被膜の浮き・剥がれを判定
- ★5：ガラスに形成した被膜をMEK及びIPAを含んだシルボン紙で擦り、被膜の落ち具合を判定
- ★6：ガラスに形成した被膜を200℃の恒温槽に24時間放置し、外観確認 (変色・浮き・剥がれ) を行い判定
- ★7：ガラスに形成した被膜を60℃90%RH 2時間→-30℃2時間を5サイクル後に外観確認 (変色・浮き・剥がれ) を行い判定